

09'  
1/31 (土)  
・ 2/1 (日)

第4回  
ながの発

地域で

暮らしていこう

フォーラム

テーマ：  
～主語を「わたし・(愛)」で語る支援～

第4回目を迎えた長野から発信する「地域で暮らしていこう」フォーラム。今回はさらに進化させたテーマで、今までの、そして今取り組まれている支援は、いったい「だれのものか？」を問い直したいと考えます。凍てつく長野でホットな議論を！

会場 メルパルクNAGANO  
定員 500名  
参加費 1,000円

(※障がいをお持ちの方・学生は500円)

主催 長野県障害者地域生活支援研究会、長野県精神保健福祉士協会  
後援 長野県、長野市、長野県社会福祉協議会、長野県社会福祉事業団、長野県障害者社会参加推進協議会※、長野県精神科病院協会、長野県知的障害福祉協会、長野県障害者生活支援事業連絡協議会、長野県精神障害者地域生活支援連絡会、長野県コーディネーター連絡協議会、日本精神科看護技術協会長野県支部、長野県社会福祉士会、長野県介護福祉士会、長野県民生児童委員協議会、長野県セルフセンター協議会、ポプラの会、長野大学、長野県高齢者福祉協会（順不同）

※構成団体：県身体障害者福祉協会、県視覚障害者福祉協会、県聴覚障害者協会、県肢体不自由児者父母の会連合会、県知的障害者育成会、県精神障害者家族会連合会

事務局：〒380-0928長野市若里7-1-7 長野県社会福祉総合センター5F TEL (026) 228-0350

長野県障害者地域生活支援研究会

<http://park19.wakwak.com/~nagano-shafuku-j/forum.html>



# 第4回 ながの発「地域で暮らしていこうフォーラム」

～主語を <sup>わたし</sup> I (愛) で語る支援～

冬のキンキンとした凍てつく空気の中で、長野では熱い議論が交わされてきました。このフォーラムは、知的障害者入所施設の県立西駒郷から始まり、全県的な地域生活移行の取り組み、そして精神障害者の退院支援の取り組みが発信されてきました。しかしそのみならず、はたして地域生活移行は本当に当事者にとって幸福につながったのかという検証もされてきました。

当事者の地域生活を応援する体制はまだまだ不十分ながらも次第に整い始めてきています。あちこちで当事者を中心としたケア会議が当たり前開催される風景が見られつつあります。

第4回目を迎えた『ながの発「地域で暮らしていこうフォーラム」』はさらに進化させ、『主語を I (愛) で語る支援』をテーマとして開催されます。今までの取り組みは、そして今取り組まれている支援はいったい『だれのものか?』を問い直したいと考えます。

遠くに真っ白な山並みを望む凍てつく長野の地で、ホットな議論にご参加ください。

おまちしてまーす!!

## \*日 程\*

### \*1日目

1/31 (土) 10:00 受付開始	10:00 受付	10:30 オープニング	10:45 調査研究報告	12:30 昼食・移動	13:30 スペシャル☆セッション 14:00 テーマ別☆セッション (注:会場は全て異なります)	17:00 休憩	18:00 夕食懇親会	20:00 ナイト☆セッション
------------------------	----------	--------------	--------------	-------------	---	----------	-------------	-----------------

### \*2日目

08:30 受付	09:00 相談支援シンポジウム	11:00 休憩	11:15 各発表・まとめ	12:30 エンドロール	2/1 (日) 12:40 終了
----------	------------------	----------	---------------	--------------	---------------------

## 1日目\*1/31 (土)

10:00 受付開始

10:30 オープニング <sup>わたしの</sup>「My <sup>せい</sup>らいふ」

10:45 ~12:30 調査研究報告 <sup>わたし</sup>「I <sup>すてき</sup>はこんな愛な生活してます」

地域で暮らしている方、そして退院支援によって地域生活に移行した方のインタビューから、その愛(すてき)な生活について当事者(I(わたし))をゲストに迎え紹介します。

【講師】蜂谷俊隆(関西学院大学大学院博士課程後期課程所属)  
(長野県精神障害者地域移行支援研究会)

【ゲスト】地域で暮らしている方、退院支援によって地域生活に移行した方(※予定)

●蜂谷俊隆(はちや としたか) 関西学院大学大学院博士課程後期課程所属  
地域生活支援センターのコーディネーター、福祉系大学の助手を経て、大学院博士課程で障害者福祉の歴史研究に取り組んでいる。03年から05年まで、厚生労働科学研究の地域移行調査に参加し、長野県では西駒郷地域生活移行調査(代表:三田優子大阪府立大学准教授)や、07年度厚労省プロジェクトによる全県調査に関わっている。

●「長野県精神障害者地域移行支援研究会」  
退院可能な精神障害者が地域であたり前に暮らせる社会を実現するために、厚生労働省の調査研究にプロジェクトに参加し、研究・普及啓発活動を行っている。

12:30 ~14:00

## 昼食休憩&各セッション会場へ移動

※昼食は各自でお願いします。

※スペシャル☆セッション以外は会場と開始時間がそれぞれ異なりますのでご注意ください。

当日受付にてご案内いたします。

※お申込みの際 1. ~ 6. いずれか1つご希望のセッションをお選びください。会場は全て異なります。

13:30  
~17:00

スペ  
シャル

## スペシャル☆セッション

### 1. 基調講演・シンポジウム 「精神に障がいを持つ方の地域生活移行&地域生活支援」

地域に受け皿が整えば退院できる精神に障がいを持つ方が、全国には7万人余います。当事者の思いや望む生活を中心に据えながら、地域移行の意義や促進を図るための取り組み、また移行後の地域生活を支えるためにはどのような資源や仕組み等が必要かについて、基調講演と、実際の現場で積極的に取り組みを進めている6名のシンポジストが発言します。

【基調講演講師】大塚淳子氏（日本精神保健福祉士協会常務理事）

【シンポジスト】遠藤謙二（千曲荘病院長）／勝野孝志（中信地区退院支援コーディネーター）／山本悦夫（ポプラの会）／笹井香（長野市障害福祉課）／田中由嘉里（伊那保健所）／篠田守（飯田病院精神保健福祉士・副看護部長）

大塚淳子（おおつか あつこ）1962年生まれ 小学校入学時に3年過ごした英国から帰国するも2年間全く日本語話せず登校拒否経験。多感な思春期体験から対人援助職を目指し明治学院大学入学。授業がつまらず大学不登校、ハンセン療養所や特別養護老人ホーム、児童養護施設、身体障害者施設等、泊り込みなどのボランティアで現場を見て4年目で学びたくなり大学院進学。身体障害者入通所授産施設東京コローニーに6年勤務後、陽和病院、こころのクリニック石神井勤務、2005年9月から現職。

14:00  
~17:00

(テーマ)

こども

### 2. 「障がいがあっても分けない社会をめざして」

家族や特定機関だけではなく、地域の中で住民としてその人なりに生きる。地域ぐるみで障がいのある方を支える。そのためにも、「入り口」たる児童期の支援が大事。長野からの熱いメッセージを受けとめてもらいたい。

【講師】橋本大彦氏（藍野大学教授・医師）

橋本大彦（はしもと おおひこ）  
名古屋大学医学部付属病院を経て現職。  
専門は小児精神科（つまり自閉症関係）。

はたらく

### 3. 「『はたらきたい』のニーズを共に追い求めて」

一人の障がいを持つ青年が「はたらきたい」と言ってから就職するまでの物語をナレーションで紹介。決して明確でないモヤっとしたニーズをいろいろ経験していく中でくっきりとしていく。ニーズに寄り添った就労支援とは何か？一緒に検証してみましょう。

【シンポジスト】茅野隆徳（さんらいずホール施設長）／綿貫好子（アトリエCoCo施設長）／丸山哲（ふっくら工房ふるさと施設長）

いきる

### 4. 「生きる事は死ぬこと」

生と死 終末と看取り 地域生活と深い関係あるのかい？そう とっても深いんですこれ！(わたし)と愛のみちゆき同行二人 支えあい そだちあい それが人生 だからさいごのさいごまで わたしらしく 旅立たせて ね

【講師】飯島恵道氏（尼）

飯島恵道（いじま けいどう）  
松本市出身。信州大学医療技術短期大学  
部看護学科卒。卒業後出家。駒澤大学院修  
士課程終了。諏訪中央病院緩和ケア病棟勤  
務。03年より曹洞宗薬王山東昌寺（松本市）  
副住職傍ら生老病死のトータルケアに関して  
市民団体を主催する。

あと

### 5. 「アートはわたしを元気にする」

ことばだけでは表現しきれない私は悩む。もどかしさを抱える。生きづらさを抱える。アートはそんな私を元気にしていく。自由にしていく。人とつながる力を与える。「アートなまなざし」を提唱するアートな人たちがワークショップを開催します。あとは来てのオ・タ・ノ・シ・ミ……

【アートサポーター】西山昭美（音楽療法＋感覚統合療法）／倉石久子（画家）／関孝之（アートディレクター）／佐々木良太（ジャンベ奏者）

まちづくり

### 6. 「地域で育つ新しい支えあいは、<sup>わたし</sup> I を包んでくれる!？」

地域生活には、いろいろなりリスクもつきもの。市民後見、防災福祉、支えあいマップづくりなどなど…地域ではじまった新しい「支えあい」は、(わたし)をやさしく包んでくれるのか？当事者・住民・支援者のホットな思いを集めた寄せ鍋セッションを味わってみませんか？

【ゲスト】一見俊介氏（伊賀市社会福祉協議会総合相談支援部）

【サポーター】中村彰（上田市大手町自治会長、長野県知的障害者育成会副会長）／土屋ゆかり（長野市社会福祉協議会）／花形春樹（精神障害者支援NPOさくら会）／美谷島越子（長野県社会福祉協議会）／他

一見俊介（いちみ しゅんすけ）  
三重県伊賀市社会福祉協議会総合相談支  
援部勤務。障害者を地域で支える関係機  
関のネットワークづくり、地域での居場所づくり、  
就労支援システム構築に取り組む。

18:00

夕食懇親会



「あなた、どこの人？」  
食卓を囲んで、美味しく楽しく仲良くなるう!!



20:00

ナイト☆セッション「夜まで語る支援じゃNight★」

ナイト

セルフプロデュースの  
Sweetsを片手に……

## 2日目\*2/1(日)

08:30 受付開始

09:00  
~11:00

### 相談支援に関するシンポジウム

「わたし」の語る『思い』を実現するために

どーする？どーなる？相談支援!! 障害者の相談支援の今後は、介護保険のケアマネジメントと同化してしまうのか？障害者の相談支援のあり方が問われている今、「わたし」の思いを実現していくための相談支援とは何かをそれぞれの本音で語ります。

【コーディネーター】福岡寿氏(高水福祉会常務理事・長野県相談支援体制整備推進アドバイザー)

【シンポジスト】高原伸幸/佐藤光正/山本和隆(長野県社会部障害者自立支援課)/降幡和彦(無限責任法人びあねっと)

福岡寿(ふくおか ひさし)

北信圏域障害者総合支援センター所長、長野県社会部障害者自立支援課自立支援専門員を経て現職。先駆的に障害者の地域生活移行を取り組んできており、近年では、障害者の相談支援と療育事業に特に力を入れ全国各地で活動している。

高原伸幸(たかはら のぶゆき) 厚生労働省社会・援護局障害福祉課 障害福祉専門官

広島県において、盲児施設児童指導員、視覚障害者リハビリテーション訓練士、知的障害者入所更生施設の施設長などを経た後、障害者地域生活支援センターコーディネーターを経て現職。現場での経験を活かし、国レベルにおいて障害者のニーズを相談支援によって受け止め、それに応じた様々なサービスによって地域生活を支えるシステムづくりに取り組んでいる。

佐藤光正(さとう こうせい) 駒澤大学文学部社会学科 社会福祉学専攻准教授

精神障害者の施設(やどかりの里)を振り出しに、一般科病院、精神科病院などを経た後、埼玉県職員を経て現職。専門は精神科領域の地域生活支援。特にケアマネジメントにおいて、独自に「ミスポジション論」におけるケアマネジメントを厚生労働省の相談支援専門員指導者研修や各都道府県の研修等において実施している。

11:15  
~12:30

### 各分科会からの発表とフォーラムのまとめ

「主語を『わたし(愛)』で語る支援」宣言!!

さまざまな課題を抱えるこの福祉の世界。あまりにもフクザツ怪怪。そんな中でもこの2日間のホットな議論を振り返り、何か希望を持っておうちに帰ろう。

【コーディネーター】小林彰氏(ライフステージかりがね施設長)

12:30  
~12:40

### エンドロール

- 会場 メルパルクNAGANO 長野市鶴賀高畑752-8 TEL 026-225-7800 ※JR長野駅から徒歩5分
- 参加経費 参加費1,000円(学生・障がいをお持ちの方500円)/夕食懇親会費5,000円/宿泊費8,000円~(1泊朝食付)
- 申込方法 全てのお申し込みは別紙「参加・宿泊申込みのご案内」用紙にて、(株)トップツアーへFAXでお願いします。申込用紙はホームページからもご利用いただけます。
- 申込締切 平成21年1月13日(火)まで
- 駐車場について ・駐車場のご用意はしておりませんので、各自でのご手配をお願いします。
  - ・メルパルク宿泊者は、同ホテル駐車場をご利用ください。(一部有料)
  - ・他のホテル宿泊者は各ホテルの駐車場をご利用いただけます。(一部有料)

#### 〈すべてのお申し込み先〉

トップツアー株式会社長野支店  
〒380-0825 長野市末広町1360-1  
TEL 026-226-4315  
FAX 026-228-3346  
営業時間 平日10時~18時  
〔日曜祝祭日は休業〕  
担当 大和(おおわ)、高柳、塚田

その他内容等のお問い合わせは事務局まで

